

## 感染症患者発生情報（週報）

## 埼玉県内情報 2024 年 第 43 週（10 月 21 日～10 月 27 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	7 人	類型	患者 3 人、 無症状病原体保有者 4 人
		血清型	O157 4 人、O103 1 人、 O111 1 人、O115 1 人
四類感染症 レジオネラ症	2 人	病型	肺炎型 2 人
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1 人	菌種	<i>Enterobacter</i> sp.
	1 人	病原体	不明
	3 人	血清群	A 群 1 人、B 群 1 人、 G 群 1 人
	1 人		
	1 人		
	15 人	病型	早期顕症Ⅰ期 6 人、 早期顕症Ⅱ期 6 人、 先天梅毒 1 人、 無症状病原体保有者 2 人
	11 人	年齢階級	0 歳 1 人、4 歳 1 人、 5 歳 1 人、10 歳代 5 人、 20 歳代 1 人、30 歳代 1 人、 50 歳代 1 人
	3 人	病型	検査診断例 3 人

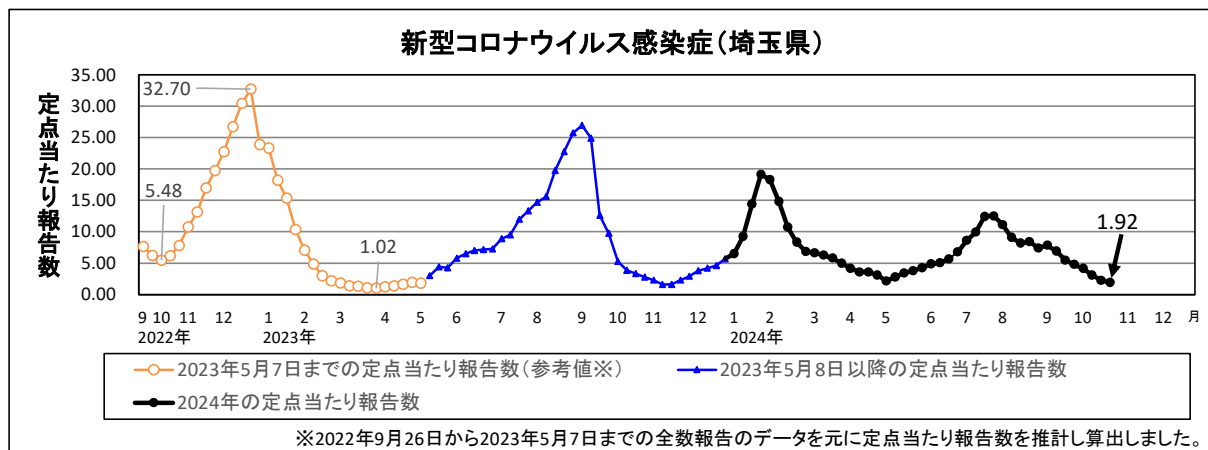
## &lt; 定点把握対象疾患の患者情報 &gt;

新型コロナウイルス感染症（2.28→1.92:図1）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少した。保健所別では、幸手（4.79）保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は16人（前週29人）であり、前週と比較して減少した。基幹定点報告疾患の一つであるマイコプラズマ肺炎（図2）は、56人（前週37人）の報告があり、前週と比較して大きく増加した。定点当たり報告数は4.67であり、1999年の感染症法施行以降、2番目に大きい値となった。年齢階級別でみると、6～8歳（8人→16人）及び9～11歳（9人→19人）において前週より大きく増加し、11歳以下の患者が全体の約86%となっている。手足口病（15.90→12.82:図3-1,2）の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、依然として多い状況にある。保健所別では、南部（24.20）、川口市（20.69）保健所管内からの報告が多い。伝染性紅斑（0.83→0.85:図4-1,2）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であり、第40週以降、やや高い水準にある。保健所別では、引き続き南部（3.00）保健所管内からの報告が非常に多く、さいたま市（1.75）保健所管内からの報告も多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎15人の報告があった。マイコプラズマ肺炎を除く基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎1人、インフルエンザ（入院）1人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ（URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idscc.html>）で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第43週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 マイコプラズマ肺炎の報告数の推移

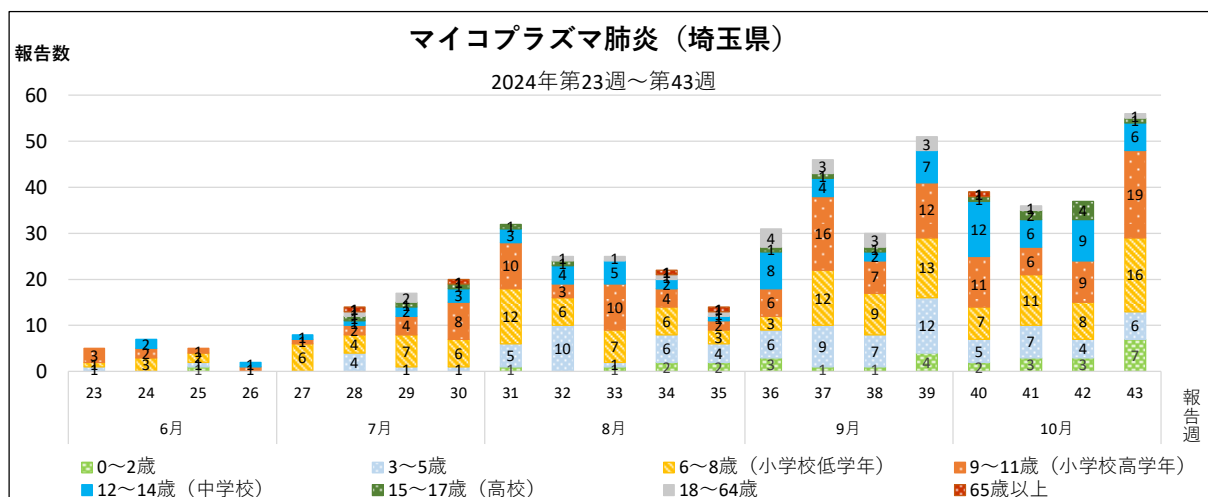


図3-1 手足口病の定点当たり報告数の推移

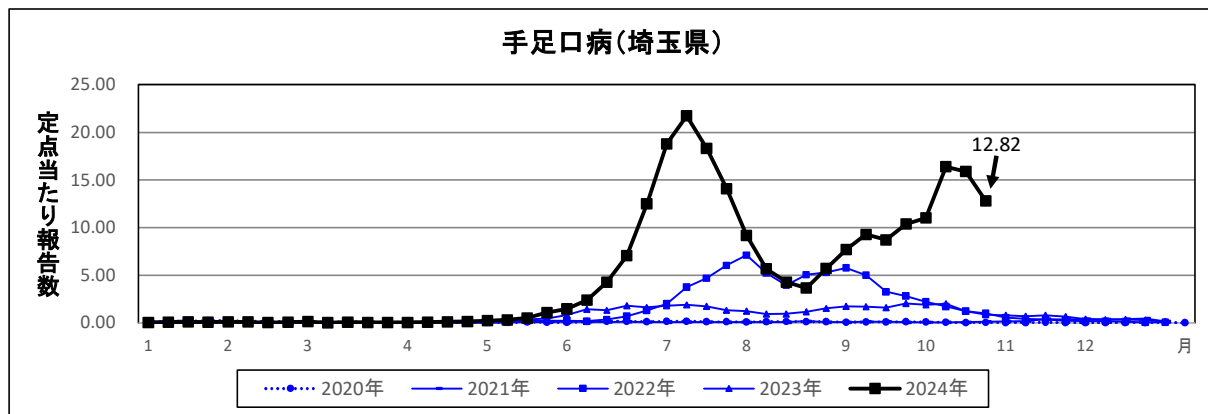


図 3-2 手足口病の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 41 週～第 43 週)

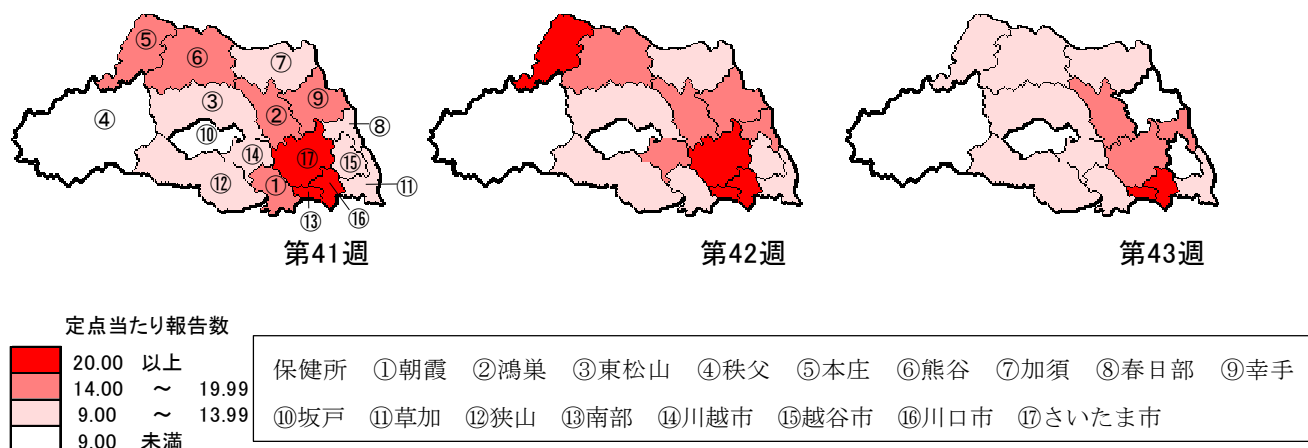


図 4-1 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移

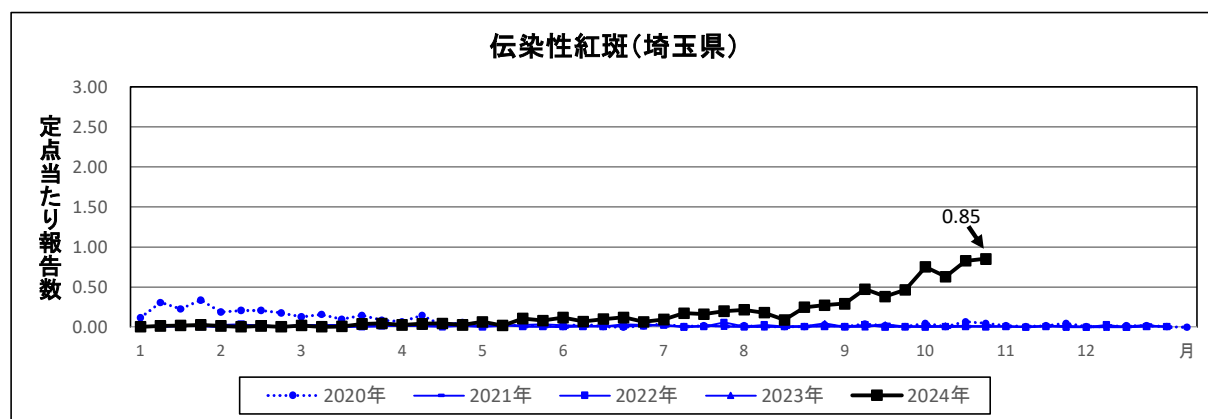
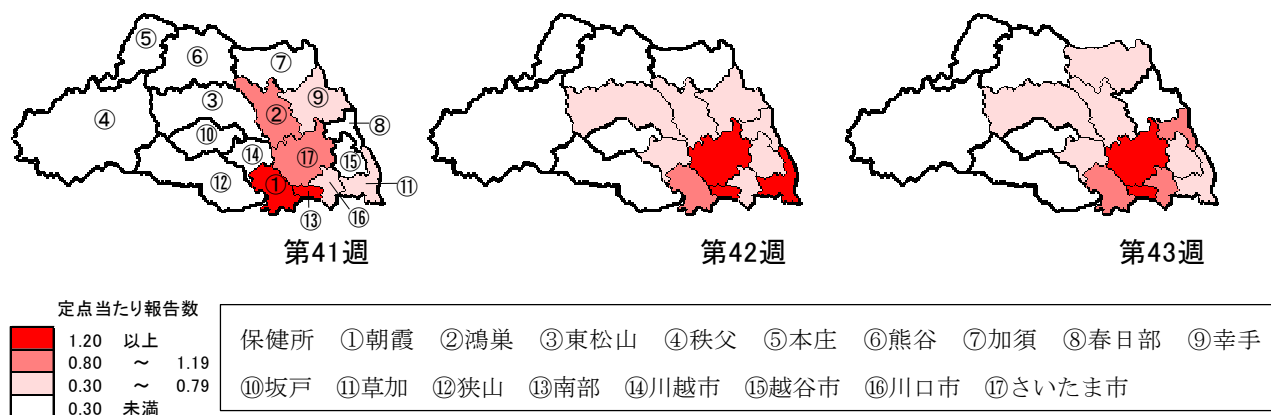


図 4-2 伝染性紅斑の保健所別流行状況の推移 (2024 年第 41 週～第 43 週)



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第43週)

(2024年10月29日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	7	145			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		33	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		1
エムポックス			日本脳炎		1
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		1
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		3
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		1
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		1
チクングニア熱			レジオネラ症	2	110
つつが虫病			レプトスピラ症		1
デング熱		11	ロッキー山紅斑熱		
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢		20	侵襲性肺炎球菌感染症	1	76
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		15	水痘(入院例に限る)		4
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	83	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	15	381
急性脳炎	1	22	播種性クリプトコックス症		8
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	99	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		29	百日咳	11	112
ジアルジア症			風しん		1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	20	麻しん	3	7
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第43週

10月21日~10月27日)

保 健 所	報告数	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1																				
全 県	報告数	145	502	40	46	356	471	36	2,103	140	47	71	4	1	15	-	1	56	-	-	1	16
	定点当たり	0.56	1.92	0.24	0.28	2.17	2.87	0.22	12.82	0.85	0.29	0.43	0.02	0.02	0.36	-	0.08	4.67	-	-	0.08	1.33
朝 霞	報告数	8	31	2	-	49	50	1	192	16	5	3	-	-	-	-	1	16	-	-	1	1
	定点当たり	0.35	1.35	0.13	-	3.27	3.33	0.07	12.80	1.07	0.33	0.20	-	-	-	-	1.00	16.00	-	-	1.00	1.00
鴻 巣	報告数	9	41	1	3	33	35	5	199	9	5	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.47	2.16	0.08	0.25	2.75	2.92	0.42	16.58	0.75	0.42	0.17	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	1	9	-	1	3	23	1	48	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.13	1.13	-	0.20	0.60	4.60	0.20	9.60	0.60	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数	-	8	2	-	2	-	-	14	-	1	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	1.60	0.67	-	0.67	-	-	4.67	-	0.33	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	-	4	-	-	-	-	1	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	-	0.57	-	-	-	-	0.25	12.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数	19	22	-	1	18	20	1	86	2	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	定点当たり	1.46	1.69	-	0.13	2.25	2.50	0.13	10.75	0.25	0.50	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
加 須	報告数	1	18	4	-	3	1	1	74	3	-	1	-	-	1	-	-	3	-	-	-	2
	定点当たり	0.10	1.80	0.67	-	0.50	0.17	0.17	12.33	0.50	-	0.17	-	-	1.00	-	-	3.00	-	-	-	2.00
春 日 部	報告数	5	18	4	3	19	19	-	98	7	2	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.50	1.80	0.67	0.50	3.17	3.17	-	16.33	1.17	0.33	-	-	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	8	67	9	10	29	14	-	67	1	-	8	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.57	4.79	1.00	1.11	3.22	1.56	-	7.44	0.11	-	0.89	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	7	21	-	4	6	28	1	39	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.70	2.10	-	0.67	1.00	4.67	0.17	6.50	-	0.33	0.17	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
草 加	報告数	23	70	2	3	17	30	-	116	8	5	3	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	1.21	3.68	0.17	0.25	1.42	2.50	-	9.67	0.67	0.42	0.25	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	10	76	7	4	50	22	10	144	4	4	6	1	1	1	-	-	2	-	-	-	1
	定点当たり	0.40	3.04	0.44	0.25	3.13	1.38	0.63	9.00	0.25	0.25	0.38	0.06	0.20	0.20	-	-	2.00	-	-	-	1.00
南 部	報告数	14	13	4	-	30	29	-	121	15	-	27	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2
	定点当たり	1.75	1.63	0.80	-	6.00	5.80	-	24.20	3.00	-	5.40	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2.00
川 越 市	報告数	9	19	-	8	21	7	2	101	6	4	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	0.64	1.36	-	1.00	2.63	0.88	0.25	12.63	0.75	0.50	0.25	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	7	26	-	-	7	41	1	63	3	3	3	-	-	-	-	-	13	-	-	-	3
	定点当たり	0.54	2.00	-	-	0.88	5.13	0.13	7.88	0.38	0.38	0.38	-	-	-	-	-	13.00	-	-	-	3.00
川 口 市	報告数	12	31	1	1	19	56	8	269	14	2	2	2	-	1	-	-	8	-	-	-	-
	定点当たり	0.60	1.55	0.08	0.08	1.46	4.31	0.62	20.69	1.08	0.15	0.15	0.15	-	0.25	-	-	8.00	-	-	-	-
さいたま市	報告数	12	28	4	8	50	96	4	424	49	9	11	-	-	11	-	-	8	-	-	-	2
	定点当たり	0.28	0.65	0.14	0.29	1.79	3.43	0.14	15.14	1.75	0.32	0.39	-	-	1.22	-	-	8.00	-	-	-	2.00

( - : 0.00 ) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第43週 10月21日～10月27日)

	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	145	1	2	5	2	10	5	5	5	8	6	6	28	15	10	9	11	7	5	3	2
新型コロナウイルス感染症	502	-	6	5	7	4	4	1	2	2	5	4	46	34	39	53	51	80	53	58	48
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	40	4	12	11	8	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	46	1	2	9	6	7	6	6	3	3	2	-	1	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	356	1	1	6	16	30	31	37	37	41	32	26	66	8	24						
感染性胃腸炎	471	7	28	66	44	49	48	42	38	32	17	22	50	8	20						
水痘	36	-	2	2	1	-	4	1	2	3	7	8	5	1	-						
手足口病	2,103	13	74	354	271	251	294	262	187	139	88	56	91	9	14						
伝染性紅斑	140	-	-	-	11	14	16	22	21	16	11	16	11	-	2						
突発性発しん	47	1	7	25	10	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	71	-	1	16	15	6	9	8	3	4	3	1	4	-	1						
流行性耳下腺炎	4	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-						
	合計	-6カ月	-12カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	15	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	3	1	3	3	1	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	56	2	10	24	18	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ(入院)	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新型コロナウイルス感染症(入院)	16	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1	1	12			

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第41週 (10月7日～10月13日)

令和6年10月30日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患**:インフルエンザの定点当たり報告数は第34週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(19.13)、宮崎県(1.83)、鹿児島県(1.34)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は96例と前週と比較して増加した。都道府県別では24都道府県から報告があり、年齢別では0歳(4例)、1～9歳(20例)、10代(7例)、20代(2例)、30代(2例)、40代(2例)、50代(3例)、60代(10例)、70代(24例)、80歳以上(22例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は北海道(3.96)、茨城県(3.94)、千葉県(3.69)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,015例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(15例)、1～9歳(28例)、10代(10例)、20代(10例)、30代(16例)、40代(21例)、50代(58例)、60代(93例)、70代(267例)、80歳以上(497例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの)**:RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第37週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(1.00)、徳島県(0.70)、福井県(0.68)、高知県(0.68)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は京都府(0.68)、鹿児島県(0.63)、佐賀県(0.48)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.68)、福岡県(4.34)、熊本県(3.60)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(8.50)、石川県(5.24)、徳島県(5.13)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(28.25)、山形県(26.61)、富山県(25.25)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(0.86)、東京都(0.84)、神奈川県(0.84)、埼玉県(0.60)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(2.17)、山形県(1.32)、鹿児島県(0.82)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位2位は岩手県(0.10)、秋田県(0.09)である。

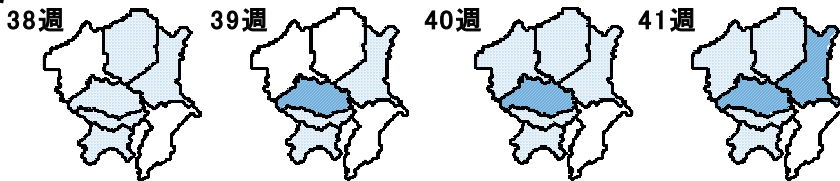
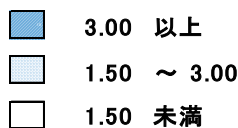
**基幹定点報告疾患**:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第35週以降増加が続いており、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(5.67)、愛知県(5.00)、京都府(4.29)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は増加した。2都道府県から4例報告があり、年齢別では1～4歳(1例)、5～9歳(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第41週(10月7日～10月13日):通巻第26巻 第41号 より

## <関東情報>

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は、茨城県(3.54)、埼玉県(3.00)からの報告が多い。

### マイコプラズマ肺炎



2024年 41週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	4,391	1,317	148	38	38	182	182	393	336
	定点当たり	0.89	0.87	1.23	0.50	0.45	0.70	0.91	0.94	0.94
新型コロナウイルス感染症	報告数	11,717	4,115	473	230	240	804	741	749	878
	定点当たり	2.38	2.71	3.94	3.03	2.82	3.10	3.69	1.80	2.45
RSウイルス感染症	報告数	992	185	10	16	9	38	18	53	41
	定点当たり	0.32	0.19	0.13	0.33	0.17	0.23	0.14	0.20	0.18
咽頭結膜熱	報告数	697	176	21	10	18	34	18	43	32
	定点当たり	0.22	0.18	0.28	0.21	0.34	0.21	0.14	0.16	0.14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,262	1,779	266	74	57	344	336	414	288
	定点当たり	2.00	1.86	3.55	1.54	1.08	2.12	2.65	1.57	1.27
感染性胃腸炎	報告数	8,237	2,443	160	76	142	444	392	698	531
	定点当たり	2.63	2.56	2.13	1.58	2.68	2.74	3.09	2.65	2.35
水痘	報告数	457	138	3	5	8	28	16	33	45
	定点当たり	0.15	0.14	0.04	0.10	0.15	0.17	0.13	0.13	0.20
手足口病	報告数	33,760	12,968	706	760	663	2,657	1,963	3,243	2,976
	定点当たり	10.78	13.59	9.41	15.83	12.51	16.40	15.46	12.33	13.17
伝染性紅斑	報告数	791	614	5	16	10	97	75	222	189
	定点当たり	0.25	0.64	0.07	0.33	0.19	0.60	0.59	0.84	0.84
突発性発しん	報告数	788	201	18	6	21	34	25	46	51
	定点当たり	0.25	0.21	0.24	0.13	0.40	0.21	0.20	0.17	0.23
ヘルパンギーナ	報告数	1,189	432	40	9	15	106	72	108	82
	定点当たり	0.38	0.45	0.53	0.19	0.28	0.65	0.57	0.41	0.36
流行性耳下腺炎	報告数	95	35	2	1	2	7	5	9	9
	定点当たり	0.03	0.04	0.03	0.02	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	5	2	-	-	-	1	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.02	-	0.03	-
流行性角結膜炎	報告数	346	110	21	5	2	15	15	13	39
	定点当たり	0.50	0.53	1.31	0.42	0.14	0.37	0.43	0.33	0.80
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	4	-	1	-	-	3	-	-
	定点当たり	0.02	0.05	-	0.14	-	-	0.33	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	27	13	1	1	-	2	-	8	1
	定点当たり	0.06	0.15	0.08	0.14	-	0.17	-	0.32	0.08
マイコプラズマ肺炎	報告数	935	214	46	11	16	36	9	70	26
	定点当たり	1.95	2.46	3.54	1.57	1.78	3.00	1.00	2.80	2.17
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

## 麻疹の発生状況とウイルス検出状況

10 月に入り、埼玉県内において麻疹 7 例が届出<sup>※1</sup>されています。2015 年 3 月に日本が麻疹排除状態にあると WHO より認定を受けたのちも、2019 年までは埼玉県でも年間 2-35 例の届出がありましたが、2020 年以降の 4 年間は COVID-19 の世界的な流行に伴う往来制限等の影響により年間 0-1 例と大きく減少していました（表）。

全国では、2020~2022 年は 10 例以下でしたが、2023 年には 28 例、2024 年も 10 月 23 日時点で 30 例を超えています<sup>※2</sup>。この麻疹の届出増加を受け、厚生労働省は令和 5 年 5 月 12 日付事務連絡（令和 6 年 2 月 26 日一部改正）で注意喚起を行っています<sup>※3</sup>。

2024 年の全国の届出例では、20~29 歳が最も多く、15~19 歳、30~39 歳と合わせると 15~39 歳が約 7 割となっています。またこの年齢群の届出例のワクチン接種歴を見ると、2 回接種未了者が多くを占めています。2 回の麻疹含有ワクチンの定期接種機会があった世代でも、2 回接種未了者で麻疹が発生する可能性があることが示されています。

表 麻疹届出数

西暦	埼玉県	全国*
2015	2	35
2016	8	165
2017	5	186
2018	16	279
2019	35	744
2020	0	10
2021	1	6
2022	0	6
2023	0	28
2024	7	34

2024 年は、埼玉県は 43 週、全国は 42 週までの暫定値  
\* 出典：感染症発生動向調査事業年報（厚労省・感染研）

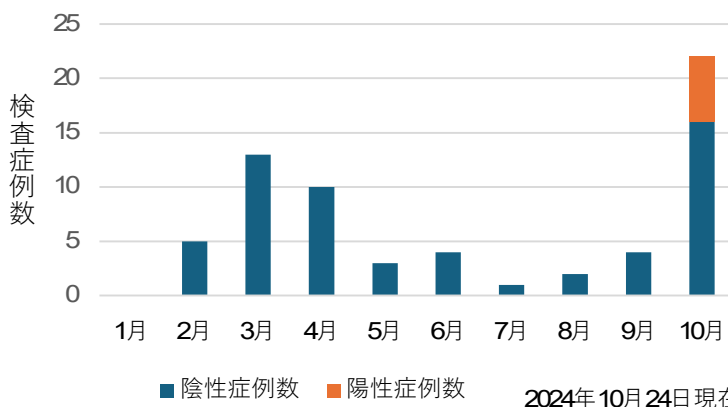


図 埼玉県内における麻疹ウイルス検査実施状況(2024年)※4

図は埼玉県内における麻疹ウイルス遺伝子検査の実施状況です。10 月には 22 例中 6 例において、麻疹ウイルス遺伝子が検出されました（10 月の検査症例数には、陽性者の接触者であり症状のあった方の検査を含みます。）。

麻疹ウイルス遺伝子検査については、「麻疹に関する特定感染症予防指針」により原則として全例に実施することが求められています。遺伝子検査用の検体の採取は発症から 1 週間以内が望ましいとされていますが、それ以上経過していても遺伝子が検出された症例もあります。医療機関におかれましては、臨床診断をした時点で保健所に届出を行い、保健所の求めに応じ遺伝子検査用検体（咽頭ぬぐい液、血液、尿）の採取にご協力くださいますようお願いいたします。

※ 1 <https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/masinn.html>

※ 2 <https://www.niid.go.jp/niid//images/idsc/disease/measles/2024pdf/meas24-42.pdf>

※ 3 <https://www.mhlw.go.jp/content/001222287.pdf>

※ 4 埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市・越谷市・川口市保健所での検査による



感染症発生動向調査  
2024年

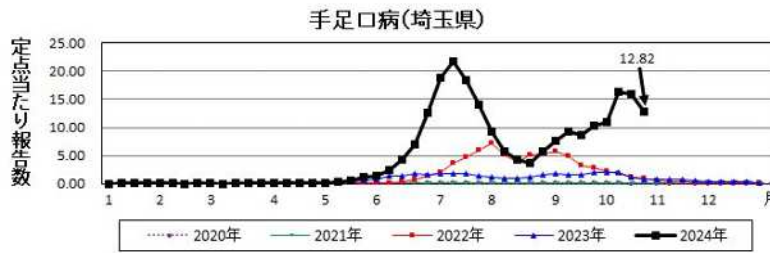
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第12週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第13週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第14週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第15週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第16週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第17週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第18週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第19週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第20週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第21週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第22週](#)
- [▶ 感染症の流行状況 2024年 第23週](#)

## 感染症の流行状況 2024年 第43週

2024年第43週（10月21日～10月27日）の要点

[手足口病](#)の定点当たり報告数は、前週と比較して減少したものの、依然として多い状況にあります。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	→	★	<a href="#">手足口病</a>	↓	★★★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↓	—	<a href="#">伝染性紅斑（りんご病）</a>	→	★★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	→	★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱（プール熱）</a>	→	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	→	★	<a href="#">流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘（みずぼうそう）</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）\*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

